

すくい 議会だより

No.93

2015.4

編集 議会広報編集特別委員会

●今号の主な内容

3月定例会のあらまし…2

予算特別委員会…2

本会議…6

3月定例会議決結果等一覧…8

町政を問う

一般質問 11議員が質問…10

常任委員会活動報告／全国町村議会議長会表彰…21

皆さんからのご意見…22

ふるさとへの便り(59) …23

雫石町へようこそ…24

●今号の表紙／まちの笑顔シリーズ
「雫石排球男スポーツ少年団」

3月定例会のあらまし

予算総額155億1,094万8千円を可決

組織再編の課設置条例改正案は否決

教育費の執行に条件付き決議

平成27年3月定例会は、2月26日から3月20日までの23日間の会期で行われました。

本定例会では、条例の制定案件等が18件、27年度当初予算案件が10件、26年度補正予算案件が13件、契約締結案件が5件、公の施設の指定管理者の指定案件が2件あり、これら48案件のうち47件を可決しました。

しかし、町組織の再編成を盛り込んだ「雫石町課設置条例の一部改正案」は、子育て障がい福祉課の名称が子育てと障がいを結び付けられる懸念があることや、環境対策課の廃止による政策への悪影響が憂慮されることなどから否決しました。

なお、27年度一般会計予算教育費に計上されているスーパーエコスクール改修工事実施設計・監修業務委託料の執行は、「現在計画されている工事を認めるものではなく、詳細設計過程の要所で当局と議会が確認しながら進める」とし、確認に当たっては、「費用対効果を十分に検討の上、必要最小限の工事とする」「特に図書館の整備については、安易に増設は行わず、既存校舎の良好なスペースを有効活用し、費用の圧縮に努める」ことを条件とした議員発議による決議案を賛成多数で可決しました。

また、この議員発議のほかに、請願2件、陳情2件を採択し、請願に係る意見書案2件と雫石町議会委員会条例の一部改正等2件の計4件の議員発議案を可決しました。

一般質問は11名が登壇し、地方創生や雫石中学校スーパーエコスクール実証事業など多岐にわたり、町政についていただきました。

27年度予算特別委員会（10会計）については、予算特別委員会（前田隆雄委員長、幅 秀哉副委員長）を設置し、4日間にわたり各会計について延べ422項目の質疑を行い、原案可決すべきものと決定しました。

この委員会審査報告を受け、本会議で可決しました。

平成27年度各会計当初予算

会計名	予算額	対前年比
一般会計	88億5,500万0千円	2.7
国民健康保険	23億2,341万6千円	13.2
御明神財産区	814万1千円	332.8
簡易水道事業	3,218万9千円	▲25.3
介護保険事業勘定	17億9,224万3千円	▲0.8
介護保険介護サービス事業勘定	1,491万7千円	▲3.2
雫石町立雫石診療所	3億7,515万2千円	▲0.6
後期高齢者医療	1億5,484万5千円	5.7
水道事業	6億5,538万4千円	23.5
下水道事業	12億9,966万1千円	—
総合計	155億1,094万8千円	6.7

※下水道事業・農業集落排水事業は1つの公営企業会計になりました。

また、水道事業も公営企業会計です。

※その他は一般会計と特別会計です。

平成27年度各会計予算審査の中で取り上げられた主な質疑内容

総括歳入

問

町税の収入が平成10年代と比較して、2億6,000万円程減っているが、その要因は。

答

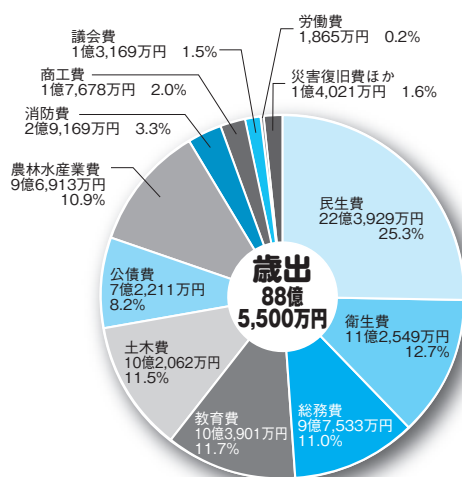
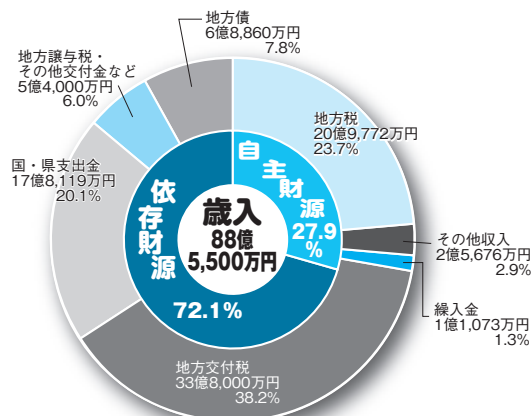
大きな要因は、町税の大半を占める固定資産税の減額によるものです。今年度予算では、町民税（個人・法人）の伸びが見られますが、税全体では減収の見込みです。



全国的に土地評価額が下落

数字で見る予算 一般会計

歳入・歳出の内訳



総務費

問 総合計画策定支援業務委託料 194 万円はどのような内容か。

答 策定委員会を立ち上げて審議会を 3 回、さらに専門部会を組織し、そちらも 3 回。年間計 6 回計画しており、それぞれコーディネーター的な形で入ってもらい支援していただく。

農林業費

問 熊も鹿も確実に増えている。ある一定数の数になれば爆発的に被害が大きくなる。対策はたっているか。

答 熊は引きつづき、罠、銃器等を使った捕獲に取り組む。鹿は、広域的な部分もあるので、県等の指導をいただき、駆除していく。

民生費

問 低所得高齢者等の住まい、生活支援モデル事業で 510 万円計上されているがどのような内容か。

答 自立した生活を送ることができない低所得高齢者等の方々を対象に、空き家等を活用し低額な家賃の住まいの確保と日常的な見守り、住み慣れた地域で継続的に暮らしていける体制を整備する事業。



被害を防ぐための電気柵

衛生費

問 公害対策事業の報酬欄に、昨年まであった環境対策専門委員がなくなっているのはなぜか。

答 18 年度からの雇用で活躍していただいたが、新年度からは職員の資質を上げ、環境問題に対応していくこととした。

問 昨年の米価下落対策として、水稻生産緊急支援事業補助金 1,955 万円の内容は。

答 26 年産米の米価下落に対する支援ということで、水稻の種子 10 アール当たり 1,000 円を助成する予定。

問 全国和牛能力共進会が 29 年の秋に宮城県で行われるが、諸準備、育成の計画は。

答 県及び農協の取り組みの中で、生産者、生産部会の方々と共通認識を持って、町内産牛が県代表に選ばれるようにしたい。

問 農業簿記記帳教室講師謝礼の内容は。

答 今までパソコン教室と呼ばれていたものだが、27 年度は直営で実施しようとするものである。講師謝礼はこれまでの指導者からトレーニングセンター指導員にスムーズに移行できるようにするためのものである。



放射線量の測定の様子

商工費

問 観光協会運営費補助金として1,534万円あるが、その中身は。

答 人件費として1,360万円ほど見込んでいる。その他事業に関わる部分として、レンタサイクルや観光ワンコインタクシー事業等の補助金として計上した。

問 他に委託料として人件費や管理料等、相当な金額が出ている。町として全部精査した結果での支出なのか。

答 現在7名の事務員のうち、5名分の経費を補助金で見ている。町全体の観光振興策では観光協会が重要であり、主都圏などから町に観光客を呼び、推進させる上では人員等の確保は必要だという認識だ。

土木費

問 下水道事業全体計画1,101ヘクタールのうち、整備済みはいくらで、今後の計画の見通し状況と一般会計からの繰出しの概算はいくらか。

答 下水道事業で整備済みの面積は607.5ヘクタールとなっている。計画は5年に1回整備区域の見直しを行い、先般25年度上長山地区106ヘクタールを、集合処理区域から浄化槽の個人型に整備手法を見直した。今後鶯宿までの計画は、10年くらいでほぼ毎年3億円くらい一般会計からの補助金を見込んでいる。

問 除雪事業で設備点検は確認できたが、土木事業所では作業を始める前に毎朝KY（危険予知）といって、危険予知確認をし合うが行っているか。

答 日常的な安全管理という形では行っていないが、出勤と健康状態などの確認はしている。

問 町営住宅管理運営事業の修繕料500万円は、どのようなものか。

答 全町営住宅修繕のための500万円であるが、新高前田住宅の修繕料が多くなっている。

教育費

問 スーパーエコスクール事業で町の負担は1億円程度と答弁したが、正確なところを確認したい。

答 事業全体では5億230万円で国費からの補助金は1/2と1/3の部分がある。起債は2億4,900万円になる。一般財源は8,300万円で、町の負担は起債も含む。

特別会計

問 国保でいろいろな検診をすると、医療費負担が下がると思うので、特定健診の受診率を上げるようPRを検討してはどうか。

答 国保で行っている特定健診受診率は伸び悩んでいる。個人の負担金を少なくするなど、関心を持ってもらえるような取り組みを検討したい。

総括

問 町財政における普通交付税も年々減っている。^{※1}臨時財政特例債の発行も、どうなるか確定的でないし、^{※2}財政調整基金も10億円を切るような見通しであるかどうか。

答 深谷町政2期目の方針として、27年度の災害復旧と財政再建は欠かせない。予算編成の中では、必要なものには大胆な使い方をし、事業の選択をきちんとして財政の健全化を進める。

平成27年度一般会計予算教育費に対する附帯決議

教育費に予算計上されているスーパーエコスクール実証事業は、築40年経過した校舎であることと、今後の学校統廃合の検討等の観点から、この時期に実施することについては疑問が呈されている。

一方、それに包含して計画されている改修工事は、本来すぐにでも実施する必要があると判断され、切り離して検討されるべきものであるが、実証事業とセットで既に申請して国県に申請して進められていることから執行にあたっては、当局と議会で確認しながら進めることとした。

※1 臨時財政特例債…地方交付税の財源不足を補うために国と地方が折半して負担し、その地方負担分として発行する赤字債。

※2 財政調整基金…自治体が財源を調整し、計画的な財政運営を行うための貯金。

町当局に4項目の意見を提言

意見

1

林業専門指導員の登用があって
しかるべき。



意見

2

国際化社会に向けて各国と
の交換留学は、町を挙げて歓
迎する体制整備が必要。



意見

3

よしゃれ祭りと南部よしゃれ
全国大会、軽トラ市も含め一緒
に開催し、「地
方創生」として
夏の一代イベン
トにするなどの
新しい発想を。



意見

4

空き家バンクへの登録を増やす
よう、積極的に取り組むべき。



討 論

平成27年度予算議決に対する討論（要旨）

平成27年度一般会計、特別会計および企業会計を議決するこ
とに対する討論が行われました。その要旨を紹介します。



反対

西田征洋議員

以前から地方債残高の減少鈍化
を指摘してきた。災害を経験し、
突発的なことにも対応できる財政
にしておくことが教訓であった。

しかし、ここ数年の地方債残高の推移を見るとその
ような方向になっていない。町道除雪直営事業での給
油を町内の一部業者のみ指定し、その後すぐに変えた
ことや地方創生への参加推進を明確にしたことに不安
を感じる。

また、本予算では大雨災害被害者が切望する改良復
旧への道筋が見えてこない。国保税引き上げで加入者
の悲鳴が聞こえる。介護保険料も27年度から月額
5,694円に上がり、制度発足時の2倍近くになる。
住民福祉の向上をもっと追求するべきであり、反対す
る。

賛成

上野三四二議員

一般会計予算案には、残って
いる災害復旧工事費が計上され
ていること、地方創生を踏まえ
たまちづくりへの取り組みが明
確であること、地域福祉、低所
得高齢者生活支援モデル事業の展開などが盛り込まれ
ている。

また、農林分野では、6次産業化への取り組み、肉
牛増頭計画・消費拡大事業、再造林事業、野生鳥獣の
被害防止対策事業などがある。土木分野では、昇瀬橋
の掛替工事の設計等、教育分野では、学校の教育環境
整備、学力向上の支援体制、雫石高校との中高連携な
どがある。下水道事業会計予算には、公共下水道管
幹線整備の進行もあるなど本町の特色ある行政執行に
十分配慮した予算であり、賛成する。

※ 嶋 秀哉議員も賛成討論を行いました。

条例の一部改正（主なもの）

○雫石町保育の必要性の認定等に関する条例の制定について

子ども・子育て支援法に基づく保育給付の支給認定に関し、保育の必要性の認定基準を定めるもの。

○雫石町保育料条例の制定について

子ども・子育て支援法に基づく特定教育。保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担の額、町立保育所延長保育料の額等を定めるもの。

この条例制定により、全体の保育料が引き下げられるとともに、第2子を最大5割減、第3子以降は無料となる。

○雫石町介護保険条例の一部改正について

介護保険料の改定、所得の低い第1号保険者の保険料軽減強化のための改正（平成27年4月1日施行）および新しい介護予防・日常生活支援総合事業の平成29年4月1日の実施について定めるもの。

○雫石町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

介護保険法施行規則等の一部改正に伴い、指定地域密着型サービスの事業の人員等に関する基準を改めようとするもの。

○主な質疑

問 雫石町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例第6条に看護師、介護福祉士の代わりに3年以上従事した経験を有する者をオペレーターとしてあてることができるかとあるが、なぜ3年なのか。町条例により資格外の人がやれるような制度になってきており、何かあれば町が責任を取らなければならないケースが多くなってくると思うが、どう考えているのか。

答 国の基準に準じて規定してきており、3年以上の根拠までは問い合わせていない。市町村の責任の度合いがだんだん大きくなるということなので、規程の運用に当たっては、このような根拠などもより精査しながら、国や県の指導をいただきながら進めていきたいと考えている。

平成26年度一般会計補正予算（主なもの）

○一般会計補正予算（第7号）[2月16日臨時会]

補正前の額	補正額	計
93億6,187万9千円	9,516万6千円	94億5,704万5千円

▶町共通買物券事業に補助金※	2,960万0千円
▶町誘客促進事業委託料	1,400万0千円
▶町道除排雪事務委託料（増）	4,600万0千円

○一般会計補正予算（第8号）

補正前の額	補正額	計
94億5,704万5千円	1億8,407万7千円	92億7,296万8千円

▶まち・ひと・しごと創生総合戦略策定調査業務委託料	864万0千円
▶国民健康保険運営事業財源補填繰出金（増）	2,891万7千円
▶牧草地再生対策事業	▲6,067万8千円
▶観光交流推進事業	1,402万6千円
▶緊急避難路整備事業	▲1,954万6千円
▶農地等林道・河川過年補助災害復旧工事費減	▲1億2,730万5千円

○一般会計補正予算（第9号）

補正前の額	補正額	計
92億7,296万8千円	3,117万7千円	93億414万7千円

▶高齢者等買物弱者支援事業	1,158万0千円
▶道路除排雪業務委託料（増）	1,831万9千円

○主な質疑

問 牧草地再生対策事業費が大幅な減額になった理由は何か。また27年度の見通しは。

答 当初予算に計上した際には462ヘクタール程の除染事業を予定していたが、実施の段階で122ヘクタール程できなかったことが主因となり、329ヘクタールに留まったことによる。27年度も継続して実施していく。500ヘクタール弱を予定している。



除染するための反転作業

問

まち・ひと・しごと創生総合戦略策定調査業務委託料の内容はどのようなものか。

答

総合戦略策定のための人口変化の分析、住民意識調査、移住希望調査等の調査、雇用創出のための政策などの政策提言といったところを中心に委託したいと考えている。庁内に「雫石町人口減少対策本部」、「プロジェクトチーム」および「まち・ひと・しごと創生総合戦略検討委員会」を設置し、委託先からの分析や政策提言などと当町の考えをすり合わせながらまとめていく。

どうなりました 請願・陳情

○請願第1号 手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願（採択）

提出者＝一般社団法人 岩手県聴覚障害者協会
盛岡支部長 菊池るり子

手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、聞こえない子供などが手話を身に付け、自由に手話が使え、さらには手話を言語として普及、研究することの出来る環境が必要であることから、採択としました。また、これに関する意見書（上記の環境整備を目的とした「手話言語法（仮称）」を制定すること。）を議員発議し、国会及び関係省庁に提出しました。



手話言語法の制定を望むパンフレット

○請願第3号 安心・安全の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める請願書（採択）

提出者＝岩手県医療労働組合連合会
執行委員長 中野るみ子

東日本大震災から復帰復興、また今後到来する少子高齢化社会への対応には看護師などの夜勤、交代制労働者の増員と労働環境の改善、さらには医師、監護、介護職員など、医療福祉労働者の深刻な人手不足を早急に解消することが必要であるということから、採択としました。

また、これに関する意見書「①労働時間を1日8時間、週32時間、勤務間隔12時間以上とし、労働環境を改善すること。②医師、看護師・介護職員等を大幅に増やすこと。③国民（患者・利用者）の自己負担を減らし、安全・安心の医療・介護を実現すること」を議員発議し、国会及び関係省庁並びに岩手県に提出しました。

○陳情第1号 JOCジュニアオリンピックカップ・2017全日本ジュニアスキー選手権大会兼全国スキージュニア協議会開催を求める陳情書（採択）

提出者＝一般社団法人 雫石町体育協会
会長 主濱 幸彦
特定非営利活動法人 雫石町スキー連盟
会長 高橋 政博

当町で大会が開催されることにより、将来に向けた町のスポーツ振興の大きな原動力となること、また多くの選手が当町を訪れることによりスキー場、宿泊施設などへの経済効果、雫石町の豊富な観光資源のPRも想定されるということから、採択としました。

○陳情第2号 上野沢川東岸高^{かさ}上げに関する陳情書（採択）

提出者＝陳情代表者 下川原秀昭 外11名

旧JA御明神支所裏、上野沢川橋から上流は兩岸とのやや同じ高さに整備されていたが、陳情区間の東岸約108メートルは、西岸に比べ目視で約1メートルほど低い状況であることを確認しました。このような状況では、今後豪雨等による河川増水の際にこの東岸から冠水し、住宅及び農用地の水害が拡大^{かさあ}することが予想されることから、早急にこの区間の高^{かさ}上げ工事は必要であると判断し、採択としました。

……豪雨災害対策調査特別委員会の最終報告……

豪雨災害対策調査特別委員会（村田厚生委員長）は、災害発生間もない平成25年8月26日開催の臨時会で設置され、豪雨災害の実態把握、原因究明、被災者支援、災害復旧及び長期的な防災対策について、合計15回にわたり委員会を開催し、調査・検討・提言をしてきました。

3月20日の本会議に「最終報告書」を提出し、「自然災害はいつでもどこでも起こり得ることを念頭に、さらなる防災対策の強化が必要であります。当局におかれましては町地域防災計画の見直しやマニュアルの整備、地域コミュニティによる自主防災組織の育成等についても引き続き促進していただくよう要望するものであります。」との最終提言をしました。

平成 27 年第 2 回 雫石町議会 3 月定例会 議決結果等一覧 会期：2 月 26 日(木)～3 月 20 日(金)

議案等 番号	議員名 件名	横手 寿明	山崎 芳邦	田屋 館愛子	幅 秀哉	岩持 清美	山崎 留美子	加藤 真純	杉澤 敏明	川口 一男	前田 隆雄	西田 征洋	谷地 善和	田中 栄一	大村 昭東	上野 三四二	坂下 栄一	坊屋 鋪俊一	平子 忠雄	村田 厚生	採決 結果
議案第 1 号	雫石町保育の必要性の認定等に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 2 号	雫石町保育料条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 3 号	教育長の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 4 号	教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 5 号	雫石町課設置条例の一部改正について	○	○	○	○	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	否決
議案第 6 号	雫石町行政手続条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 7 号	雫石町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 8 号	雫石町特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例及び雫石町教育委員会教育長の給与及び旅費並びに勤務時間等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 9 号	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 10 号	雫石町職員の旅費及び費用弁償に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 11 号	雫石町介護保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 12 号	雫石町高齢者等肉用牛貸付基金の設置及び運用管理に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 13 号	雫石町道路占用料徴収条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 14 号	雫石町公共物使用条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 15 号	平成 26 年度雫石町一般会計補正予算(第 8 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 16 号	平成 26 年度雫石町国民健康保険特別会計補正予算(第 3 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 17 号	平成 26 年度雫石町御明神財産区特別会計補正予算(第 2 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 18 号	平成 26 年度雫石町下水道事業特別会計補正予算(第 2 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 19 号	平成 26 年度雫石町農業集落排水事業特別会計補正予算(第 2 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 20 号	平成 26 年度雫石町簡易水道事業特別会計補正予算(第 2 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 21 号	平成 26 年度雫石町介護保険事業勘定特別会計補正予算(第 4 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 22 号	平成 26 年度雫石町介護保険介護サービス事業勘定特別会計補正予算(第 2 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 23 号	平成 26 年度雫石町立雫石診療所特別会計補正予算(第 3 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 24 号	平成 26 年度雫石町後期高齢者医療特別会計補正予算(第 2 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 25 号	平成 26 年度雫石町下水道事業会計補正予算(第 2 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 26 号	平成 27 年度雫石町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 27 号	平成 27 年度雫石町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 28 号	平成 27 年度雫石町御明神財産区特別会計予算	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 29 号	平成 27 年度雫石町簡易水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 30 号	平成 27 年度雫石町介護保険事業勘定特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 31 号	平成 27 年度雫石町介護保険介護サービス事業勘定特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 32 号	平成 27 年度雫石町立雫石診療所特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 33 号	平成 27 年度雫石町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 34 号	平成 27 年度雫石町下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 35 号	平成 27 年度雫石町下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 36 号	公の施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて(雫石町児童館)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第 37 号	公の施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて(雫石銀河ステーション観光物産センター)	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○…賛成、●…反対 欠…欠席 ※石亀議長は採決には加わりません

一般質問
11議員が
町政を問う
質問

地方創生事業どのように進める

町長／職員総動員、全庁挙げた体制で



地方創生事業は
職員のやる気と
英知が求められ
いるが、職員の
力量が問われる。

問 「まち・ひと・しごと」創生法が成立し、人口の減少に歯止めをかけ、東京圏への人口集中を是正させ地方を活性化させる為、「地方人口ビジョン」と「地方版総合戦略」の策定を国から求められているがどのように進めようとしているか。

町長 2015年度中に策定する雫石町人口ビジョンの分析と雫石町版総合戦略の分析結果をもとに「雇用の創出」「新しい人の流れをつくる」「若い世代への結婚出産、子育ての希望をかなえる」「安心な暮らしを守る地域の諸施策」を庁内のプロジェクトチームや検討委員会を立ち上げ進めるが、職員総動員の全庁を挙げた体制の中で英知を結集し取り進める。

ふるさと納税募集をもっと積極的に

問 ふるさと納税を利用し、地域や産業を活性化している自治体がいくつも紹介されている。雫石の活性化のために、ふるさと納税にもっと力を入れてはどうか。

町長 町においても、寄付をして頂く方々にこれまで以上の感謝の意を表し、特産品を贈呈できる基準を下げ、寄付額に対しておおむね5割程度の謝礼を受け取れる様にしたい。インターネットでのPRやクレジット決済等の利便性の向上を計り、寄付者の増大を図っていく。

合併 60 周年記念事業は

問 昭和30年の4町村合併により、新雫石町が誕生し、今年が60周年にあたる。記念事業として何か考えているか。

町長 記念事業として、11月に式典と祝賀会を行う。また、観光写真コンテストや記念事業の展開などで町の魅力を発信していく。



町特産品を謝礼に活用し寄付者拡大を

■他にこんな質問もしました
・教育委員会改革の施行について

豪雨災害復旧費、財政への影響は

町長／町債の増、
財調取り崩しにより厳しい



地方創生事業への取り組み次第で、今後の雲石町が、大きく変わる。的確な総合戦略を立て、着実に推進しなければならぬ。

問 25年8月9日の豪雨災害（台風18号災害含）の復旧費が当町の財政に与えた影響はどれ程になっているのか。

町長 25年度の災害復旧費は約10億3,400万円であった。26年度、27年度の実施予定分は、合わせて約33億円であり、3ヵ年の合計では約43億円となる見込みである。国、県から補助は受けるものの、不足分については町債の発行と財政調整基金の取り崩し（一般財源の充当）による対応をしている。町債は3ヵ年合計で約10億円となっており、措置期間を経て29年度から償還が始まるが、中学校耐震工事に係る町債の償還開始年度であることもあって、償還金額が26年度に比べ約1億5,000万円増加する見込みである。それ以降、10年間は財政負担が増す状態が続くことになる。また、財政調整基金は、24年度末には約16億7,000万円あったが、25年度末には約11億3,000万円（26年度末には10億8,000万円の見込み）まで減少しており、基金の取り崩しに頼った財政運営は難しい状況になっている。

まず地方創生の総合戦略策定を

問 27年度は第2次雲石町総合計画後期基本計画、4地区の地域別計画、官学民連携14ヘクタール活用事業計画を策定するとしているが、まず地方創生の総合戦略を幹に据えて計画策定をし、その後にこの総合戦略と整合を図りながら後期基本計画などを策定するべきだと思うが、どうか。

企画財政課長 町としても総合戦略の方を先に策定し、それらを踏まえながら総合計画後期基本計画を策定する形で進めていきたいと思っている。地域別計画は住民の手による計画としていくが、当然、総合戦略、後期基本計画と連携したものにしていきたい。

豪雨災害復旧事業実施状況 単位：百万円

		25年度 決算額	26年度 予算額	27年度 予算額	計
災害 復旧 事業費 総合計	支出額	1,035	3,095	140	4,270
	国庫支出金	279	1,017	213	1,509
	県支出金	135	683	47	865
	地方債	438	567	51	1,056
	その他	3	6	0	9
	一般財源	180	822	▲171	831

[備考]

1. 台風18号災害復旧事業費を含む。
2. 26年度予算額には前年度からの繰り越し分を含む。
3. 26年度予算額、27年度予算額は実施予定額であること。
4. 事業費には、人件費や設計委託料等の事務費も含む。

■他にこんな質問もしました

- ・農業の6次産業化の実績と今後の実施見通しは
- ・特産品開発の実績と今後の取り組み予定は

総合運動公園の活用を

教育委員長／ジョギング・ウォーキングコースを整備していく



陸上競技場や
町営野球場で、
冬の時期に何か利用
できねかなあ
もってねなあ…

問 運動公園内の通路をジョギングやウォーキング等で利用されている町民の方が多いが、運動公園に試合等で来られた各種選手などもウォーミングアップで利用できるように専用コースを作ってはどうか。

教育長 スポーツ推進委員のスポーツ教室で2キロメートルと1キロメートルの周回コースを設定しているが、明確な表示が無いのでコース内に距離表示看板を設置するなど町民が安全で気軽にジョギングやウォーキングができるコースとして整備していきたい。

問 冬の時期、運動公園内の通路は除雪もされなく、夏場に利用されている方も冬の時期はやめる方が多い。せめて通路は除雪してはどうか。

社会教育課長 今年、町営体育館の除雪機を新調したので今後はそれを活用し、できればそのような形にしていきたい。

問 総合運動公園は幅広い年代の方が利用されている。小中学生でも練習等で夜まで利用している。しかし運動公園内あるいは駐車場は外灯が少なく暗い場所が多い。特に秋から冬の時期は日没も早いいため、事故等が起きないか不安だ。子供たちの防犯の面でも早急に改善する必要があるのでは。

社会教育課長 確かに総合運動公園は外灯が少なく暗い場所が多くある。施設管理している体育協会では閉館後1時間は外灯を点けて利用者の安全を図っているところである。今後は外灯の増設や屋外の防犯カメラの設置など、町民が安心して利用できるよう改善に努めていく。

役場内フロアについて

問 深谷町長になってから町長室をなくし2階の階段を上がった正面に席を置いているが、不在の時は電気が消されており町民のなかには暗い雰囲気に入って行きづらいと思う人もいると聞いている。町長席を今の場所に移したメリットは何か。

町長 住民が行政に何を求めているか直接肌で感じたいとの思いから現在の場所に移動した。また現在の場所からは住民の方のみならず職員の状況も見えやすく通常業務における指示・連絡を速やかに行え、効率の良さからも現在のスペースは最適な場所と捉えている。



幅広い活用が待たれる総合運動公園

町長選挙など 開票作業ミスなぜ

選挙委員長／一連の人為的作業ミス
お詫びしたい



常に綿密な
情報収集を得て
臨むことが
大事だね！

問 先の町長選挙・町議補選および衆議院選挙で二度も開票作業にミスがあった。このようなミスは、当落の発表遅ればかりか開票の不信感や選挙に対する関心度、投票率にも影響することも心配される。どのように検証し人為的ミスを再発させない改善策を講じたか。

選挙管理委員会委員長 去る10月19日執行の町長選挙並びに町議会補選のミスは、投票総数と集計総数に誤りがあり再確認したところ、開票作業の人為的ミスで束数の数え違いがあった。12月14日施行の衆議院議員選挙並びに最高裁判官の国民審査ミスは、開票結果を県選管に報告したところ誤差を指摘され再確認したところ、国外における投票・在外選挙2名分を当日選挙総数に加えて報告したため、2票の誤差があった。今後ミスの出ないよう万全の対策と緊張感をもって取り組む。

農協改革「賛成」の真意は

問 某新聞社の農協改革に関する県内の33市町村長に対するアンケートで、多くの首長は改革反対と回答があったが、町長は「賛成」と紙面回答した。その真意は何か、農協と連携連帯をどう考えているのか。

町長 賛成と回答したのは、農協改革により農協のあり方が見直され地域に密着した農業の強化に期待したからだ。JA新しいわての地域営農ビジョンにおいて、行政施策と方向性を共有しながら、若い世代の農業者確保につながるビジョンであることを要望してきたし、農業者に密着した農協として先導的活動を展開して欲しい。

ケッパレランドにミニジャンプと初心者アルペンコースを

問 町営スキー場・ケッパレランドはコース公認となり、交通利便で好評である。更に自然立地を活用し、ミニジャンプ場、レディース、シニア等初心者、高齢者向けのアルペンコースが多く熱望されている。高規格や設備は必要なく、地形利用の仮設型でジュニア育成の場として整備してはどうか。

町長 斜度15パーセント、斜面300メートルほどの初心者には最適のアルペンコースが設定可能であることや自然斜面を活用した小規模ジャンプ台やウェーブを雪で造ることは可能で比較的安価でレクリエーション施設として整備可能と考えている。利用形態、運営管理等を含め、町体育協会、町スキー連盟など関係者、団体等と前向き検討したい。

■他にこんな質問もしました
・地方創生事業の取り組みについて

地方創生、早期に取り組む事業は

町長／共通買い物券と誘客促進事業を実施



その町の事は、
分らないと
その町に
は言っている。

問 地域住民等緊急支援のための交付金の概要説明で、地方消費喚起型と地方創生先行型の2通りの説明があったが、どのような事業に取り組もうとしているか。

町長 地域消費喚起・生活支援型については、プレミアム商品券の発行を目的とした雫石型共通買い物券事業と、またプレミアム付き観光旅行券の発行を目的とした雫石町誘客促進事業を実施する、また地方創生先行型の交付金事業としては、地方版総合戦略の策定事業のほか、地域産業の競争力強化のため、首都圏観光商談会事業や海外インバウンド推進事業などの観光振興策を中心に先行して実施したいと考えている。

■他にこんな質問もしました

- ・バイパスの4車線化について
- ・バイパス沿線の農振除外について

コテージむらの再整備は

問 コテージむらは中途半端な事業展開で中断している、地方版総合戦略にのせ、誘客のための整備を図ることができないか。

町長 岩手県農業公社・岩手県・NPO しずくいし・いきいき暮らしネットワーク、そして町による4者で、いわて銀河ファームプロジェクト連絡協議会を組織し取り組んでおり、4者協議会の場などの機会を捉え、県に対してその旨要望していく。

グリーンツーリズムへの取り組みは

問 グリーンツーリズムのスポーツツーリズムの取り組みをどのように考えているか。

町長 推進団体の連携を支援し、農業、農村体験のみならず、重た料理や亀甲織などの町独自の文化を取り入れた幅広い体験メニューの提供により、何度も雫石町を訪れたいくなるような魅力的なグリーンツーリズムを推進する、またスポーツツーリズムは、町への観光誘客にとってこれからも大きな期待が持てる分野であり、関係課、観光協会、体育協会等と連携して取り組んでいく。



さらなる整備が望まれるコテージむら

政治家の言葉の重みを どう考える

町長／特に食い違っている認識は
ない



「自分の言葉に
責任を持つ」
これが政治家の
第一条件です。
これを粗末にしては
町の統治は
できません。

問 自分の言葉と実際にやることの違いについて、政治家としての言葉の重みをどのように考えているか。

町長 特に食い違っているという認識はない。私の気持ちでそういう行動をした。

問 政治に携わる立場の人に強く要求されるのが、町民の納得感、満足感、信頼感を醸成しつつ、信頼を確保することであり、「自分の言葉に責任を持つ」「約束したことは実行する」「情報を開示する」「説明責任を果たす」「言行一致、言っていることと実際にやることに食い違いがない」「コンプライアンス、法令を遵守し社会的規範、倫理を尊重する」ことが、行政に携わる人の重要な基本姿勢であるが、当局はどのようなスタンスで地方自治を運営しているか。

町長 私は、町長就任以来公正を信念とし、福祉向上と町の発展を第一に考え広く町民の声に耳を傾け、町政運営に取り組んできた。これからの姿勢を変えることなく、5つの施策大綱を実現するため、今後も全力を傾注する。

人口減への対策は

問 人口激減社会を生き残る町づくり、健康寿命100歳化戦略、出産・子育て戦略、発芽玄米の学校給食導入による小中学生の学力・体力徳育向上戦略、農業指導センターの強化による農業活性化戦略、プレミアム地域通貨発行による商工観光産業振興戦略、雫石盆地3千年の景観保全戦略などの戦略づくりにどのように着手しているか。

町長 人口減少対策本部を設置し、子育て対策、住環境対策、就労支援対策の取り組みを具体化する。

■他にこんな質問もしました

- ・トレセンの農業共済組合出張所閉鎖について
- ・14ヘクタールの町有地活用について
- ・コテージむら農場の活性化について
- ・議員の政策提言に対する取り組みについて
- ・説得力、スピード感のある町政について

農業指導センターのあり方は

問 農家に農業収入という幸福感を育むためには、農業指導センターを軸に「考える農家」を育てることである。農業指導センターのあり方について、どういう戦略を立てているか。

農林課長 生産調整の廃止といった国の農政が大きく変わってくるので、そういった部分について、農業指導センターを強化したい。

町長の政治スタンスは

町長／公正・中立を旨に町民党の立場でいく



「私」質問の組み立てに
ひと工夫あり！

問 再選に伴い組織機構の再編成があるか。

町長 行政課題や住民ニーズに的確に対応できるよう、業務効率、財政効果、行政サービスの維持向上などの見地から、柔軟で機能的な組織体制の整備を図る。

女性活躍対策としては

問 女性の結婚・妊娠・出産・子育て等、行政が手助けできないか。そして、人口減少に歯止めをかけられないか。

町長 国のまち・ひと・しごと創生長期ビジョンにおいて、若い世代の就労・結婚・子育てに取り組むとしている、当町も地域の特性に即した地域課題に取り組む。

教育環境の整備・改善について

問 町内小学校の適正化・統廃合の年次はいつ頃になるか。

教育委員長 基本計画の是非について、64パーセントの方がおおむね賛成。地区ごとの統合について、妥当が77パーセントとのアンケート調査がある。28年4月1日統合の目標は変更ない。

旧上長山小学校跡地は町有地か

問 町有地なら、何等かの利活用、アクションプランがあれば示されたい。

教育委員長 昭和60年11月22日普通財産として9,057平方メートル登記され、現況は雑種地である。平成12年1月12日防災用雨量観測設置用地17.64平方メートル、同年7月11日稲荷山美郷環境保全の会花壇用地280平方メートルとして貸付けをしている。今後、利活用のない土地に関しては売却等も視野に遊休地の整理をする。



有効な跡地利用を（旧上長山小跡地）

■他にこんな質問もしました

- ・衆院選開票の遅れについて
- ・地方創生にどのような対策をもって、利活用しようとしているのか

防災計画に 豪雨災害の検証も入れては

町長／検証は資料編に記載、
災害内容も追記



バツケも
芽を出すなあ、
わが町創生の芽は
誰が出すかな？

問 防災計画の見直しをしているが、具体的訓練の実施が記載されていないのでは。被害状況の取りまとめをして、その原因の検証をして計画に掲載すべきでは。

町長 各課から地域防災計画見直し作業チームを選出し、また、庁内検討会を開催し修正案とした。防災訓練実施計画は年一回9月の第一日曜日を、4地区持ち回りで実施している。被害状況の取りまとめ、原因検証は資料編に記載してあるが、今回の見直しで、災害内容を追記する。

地方創生の具体的施策計画は

問 地方創生事業が始まり、計画の立案を示さなければならないが、具体的施策計画はどのように考えているか。

町長 地域消費喚起・生活支援型、地方創生先行型が創設されており、それに向けてプレミアム商品券、プレミアム旅行券を実施する。27年度は観光振興策を進めるが、今後、雫石版総合戦略はまち、ひと、しごとの地方創生に職員総動員で取り組む。

学力向上への取り組みは

問 中学校図書室改修を計画しているが、図書の利用率と学力向上の相関関係を把握し、具体的目標値を持つべきでは。

教育委員長 図書館利用率と学力向上には非常に密接な関連性があると認識している。読書の効果は心の成長、癒しなどの心理的側面と学習意欲を上げるなどの側面がある。調査研究データで、小学校6年生に読み聞かせや読書の勧めなどをした場合、国語、算数で10点以上の差が生じた事例がある。本町も町立図書館や各小学校の取り組みで読書の推進をしている。中学校では27年度図書司書有資格者事務員の配置を計画し、生徒の利用促進を図る。



現在の雫石中図書館

■他にこんな質問もしました

- ・図書室の一般開放は
- ・公共施設の防災訓練実施状況は
- ・地方創生事業に向けた職員の研修は
- ・来町者・旅行者へアンケートを実施しては

雫石中スーパーエコスクールなぜ今か

町長／早く教育環境を整えたい



都合の良い側だけの話でなく、反対側の話も聞く耳を持たないと：

問 校舎が古く近い将来建替えが必要で、また、小中一貫校の構想もあるこの時期に、何のために5億円強もかけるかという、多くの町民の疑問の声がある。ハードよりもソフト面（ICT^{*1}環境、学習図書など）を充実させた方が、生徒にとってより創造性を育む豊かな学習環境が整備できるのでは。

町長 木質化による学習環境の改善と環境負荷の低減や自然との共生に対応した学校施設、創造性を育む豊かな教育環境として文科省が取り組んでいる学校図書館の高度利用に向けた学校づくりを進めるもの。色んな制度を使い町の負担は1億円ぐらいだ^{*2}。

問 「校舎建替基金」を積み立てておく方が、よほど納得性があるのでは。

学校教育課長 それも一つの選択肢ではあるが、できるだけ早く中学校の環境を整えてあげたい。

教育委員の推薦は

問 教育委員1名が任期切れで退任した。教育委員は地域の事情に精通し、地域の子供たちをよく知っていることが肝要で、ましてや小学校の統廃合の課題を抱えている現況から慣例通り、退任された地区から推薦するべきではないか。それを变えるのであれば事前に公言して、その理由を納得させてから実施すべきでは。

町長 必ずしも慣例にとらわれず、課題の特殊性やその時々^{その時}の情勢に応じた人選が必要だ。

国際交流協会事業の積極的応援を

問 雫石町国際交流協会は多くの事業を乏しい財源（わずかの補助金と会員の会費）の中、ボランティアで頑張っている。特に中高生の交換留学は、子供の頃から異文化に触れることにより若者の夢が広がるなど、グローバル人材育成に重要な役割を果たしている。より多くの子供たちが参加できるように、積極的支援を町に望む。県には国際交流クラブが設置され、さらに、ILC^{*3}の岩手県内誘致も夢物語ではない。時代の趨勢^{すうせい}を先取りして、果敢に取り組む町政を望む。

町長 今後も継続して国際交流を推進していく。

■他にこんな質問もしました

- ・教育委員会制度改革について
- ・小学校の適正配置について

*1：情報通信技術

*2：町の負担は1億円ではなく起債を含み約3.5億円となる（予算特別委員会で再確認）

*3：国際リニアコライダー

低所得者が利用できる 介護施設の設置を

町長／計画期間の実績を踏まえ
慎重に対応



2025年問題の
前に、2015年を
どうするか、
だよね

問 地域包括ケアシステム策定調査報告書は、保健師を含む町職員や専門家のリサーチやヒアリング等、いろいろな見地からの意見をよくまとめている。低所得者や国民年金受給者が入所できる施設の設置の必要性を指摘しているが、町の考えを聞きたい。

町長 地域福祉懇談会でも同様の意見が出ているが、現段階ではそういった施設整備については具体的に検討していない。

問 町民や保健推進委員、民生委員の方達からも低料金で利用できる居住施設の整備を望む声は多いが、第6期介護保険計画にどう反映させていくのか。

町長 日中と夜間を通じ、随時対応型訪問介護看護事業については28年度に1事業所の開設予定がある。地域密着型サービスを含む介護保険事業に係る施設整備は、介護保険料に反映されるので、事業計画期間ごとの実績を踏まえ慎重に対応しなければならない。

有機農産物と食育をセットにする試みは

問 町は地産地消を推進し看板も掲げているが、有機農産物とセットで食育に反映する取り組みはどうか。

農林課課長 有機農産物は生産量が少ないため安定供給ができず、限られた流通にとどまっている。地産地消を推進する上では実践者と生産者の確保が課題だ。

問 年間を通じ、保育所や小中学校での野菜の使用量はおおよそデータがとれるのではないか。減農薬の野菜などに取り組む農家の方から意見を聞くことからスタートしてはどうか。

学校教育課長 産直の方や調理員の方と意見交換はしている。流通に問題があり、検討と調査研究は今後必要だと考えている。

■他にこんな質問もしました

- ・間伐材等木質バイオマスの有効利用について
- ・有機農産物を地域ブランドとして観光PRしては



メイドイン栗石の有機野菜群

除雪車への給油方法は

町長／町内ガソリンスタンドで給油可能



新教育委員会制度で教育の中立性が確保されるのか、誰かから中立性を確保する必要があるのか、誰かから

問 町道除排雪事業に初めて町直営方式を導入したが、給油を町内の一部のみに指定して、その後すぐに変えた。朝令暮改もいいところだが、このことは長年培ってきた町内業者と信頼関係を損なったこと、また臨時職員の人権問題だという認識はあったか。

町長 あくまで給油での不正を防止することが目的でコンピューター管理のガソリンスタンドを指定したものであったが、その後町として単価契約している岩手県石油商業協同組合盛岡支部雪石ブロック長と協議を行い、町内の同ブロックに所属している全ての給油所で行えるようにした。臨時職員に対しては人権侵害だとは考えていない。

■他にこんな質問もしました

- ・新しい教育委員会制度のもとで教育の中立性の確保について

意見 一連の出来事はガソリンスタンドと経営者との信頼関係を役場の方から損なったという点では重大だ。また臨時職員に他の一般の部署と違う待遇をするということは差別であり、正規の講習もやらずに済ませたことと併せて人権問題だという認識を持つべきだ。

厄払い新規計画中止はなぜ

問 岩手山神社の厄払いを中心の新企画で神社関係者は今後の展望も考えて張り切っていたのが、肩すかしを喰らったわけだが、行政として配慮という点では問題がないか。

観光商工課長 環境問題でモニターツアーとして企画したが、申し込み数が少なくやむなく中止した。今後グリーンツーリズム推進協議会で魅力ある企画にしていきたい。

介護保険 改訂するたびに負担増…

問 新たに平均月額5,694円となり、制度が始まってからでは2倍に近い負担増となる。際限なく負担増となる仕組みのままだ。国には責任があるのだから現場の声をもっと国に要求していくべきではないか。

福祉課長 地方自治体の現場の声をこれからも届けていきたい。



除雪車両への給油

常任委員会●活動報告

総務常任委員会

(前田隆雄委員長)

1. 所管事務調査【3月9日】
(1) 27年度重点事業と条例改正案について
(出納課、税務課、防災課、総務課、企画財政課、町民課)
2. 請願・陳情審査【3月9日】
請願第2号 立憲主義及び平和主義を否定する「集団的自衛権の行使を容認する閣議決定」を撤回し、集団的自衛権の行使を可能とするすべての立法や政策を行わないことを求める請願
審査の結果、継続審査としました。
3. 現地調査【3月10日】
・旧ごみ焼却場、火葬場ほか4カ所の現状確認
4. 閉会中継続調査
 1. 地方創生の取り組みについて
 2. 空き家、廃屋対策について
 3. 定住促進について

教育民生常任委員会

(加藤眞純委員長)

1. 所管事務調査【1月30日】
(1) 27年度主要事業について
(2) 教育委員会制度改革について
(学校教育課)
1. 所管事務調査【3月9日・10日】
・26年度事業の進行状況、27年度重点事業、条例改正案について
(生涯文化課、福祉課、社会教育課、学校教育課、健康推進課、雫石診療所)
2. 請願・陳情審査【3月9日】
請願第1号 手話言語法制度を求める意見書の提出について
請願第3号 安心・安全の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める請願
陳情第1号 JOC ジュニアオリンピックカップ・2017全日本ジュニアスキー選手権大会兼全国スキージュニア競技会開催を求める陳情書
審査の結果、3件とも採択としました。
3. 閉会中継続調査
 1. 小学校の適正配置について
・廃校後の利活用
 2. 高齢化対策について

産業建設常任委員会

(上野三四二委員長)

1. 所管事務調査【2月2日】
(1) 6次産業化について(農林課)
(2) 道の駅あねっこの改修について
(観光商工課)
1. 所管事務調査【3月9日・10日】
(1) 27年度重点事業、調査項目、条例改正案について
(農林課、環境対策課、観光商工課、農業委員会)
2. 現地調査【3月9日】
陳情の上野沢川東岸
3. 陳情審査【3月9日】
陳情第2号 上野沢川東岸嵩上げに関する陳情書
審査の結果、全員一致で採択としました。
4. 閉会中の継続調査
・予定されている減反廃止に伴う雫石農業の現状と課題について

全国町村議会議長会 表彰を受賞

議会活動を通じて地方自治の進展に大きな役割を果たした自治功労者として、3名の議員が全国町村議会議長会表彰を受賞、8名の議員が岩手県町村議会議長会表彰を受賞しました。各受賞者は下記のとおりです。

●全国町村議会議長会表彰受賞者

- ◇議員 27年以上在職
平子忠雄議員
- ◇議員 15年以上在職
坊屋鋪俊一議員・坂下栄一議員

●岩手県町村議会議長会表彰受賞者

- ◇議員 11年以上在職
石亀 貢議長・村田厚生副議長・上野三四二議員
大村昭東議員・田中栄一議員・谷地善和議員
西田征洋議員・前田隆雄議員



町村議会広報全国コンクール 「表紙フォトグランプリ賞」受賞

町村議会広報で最も優れた表紙写真に贈られる「表紙フォトグランプリ賞」に、本紙87号の表紙写真が選ばれました。

岩手県としては初の受賞となりました。



全国グランプリを受賞した表紙写真



議会へのひとこと ——皆さんの声を聞きました



きむら きよはる
木村 清春さん
(60歳・下町四行政区)

町議会に 期待すること

日々の生活に追われて、町政にあまり関心がありませんでした。しかし、マスコミが取り上げている「地方消滅」、「農協改革」や「選挙権の引き下げ」には心を動かされています。

こんな大きな問題でなくても、小規模な農家としては米価が著しく下がっていることは残念でなりません。隣近所では、子供たちが少なくなり、子供会は他の行政区と合併になるそうです。

また、介護サービスを受けている高齢者が多くなっています。少子化と高齢化が目前で現実となっています。

さらに、決まった職業に就けないでいる働き盛りの人がいます。町政の決定権を握っている町議会の方々が、このような暗い現状を打破してくれて、町民の希望を町政に反映してくださることを期待しています。

田畑で働いているとき、季節ごとに変わる岩手山が見えます。大切な自然も守ってくださるようお願いします。



うわの なおみ
上野 直美さん
(64歳・九十九沢行政区)

大好きな雫石

私が岩泉から雫石へ嫁いで早いもので41年になります。商売をしていた実家と違い、農作業のことは、何も知らず、農家は、ずいぶん忙しいものだったものでした。

何も知らない私が、自然栽培をやりたいと思ったきっかけは、福岡正信さんの「わら1本の革命」という本で「耕さず、草もとらず、肥料もやらず」、しかも多収穫、そして何より人間や動物だけでなく土を傷つけているということを知り、夫に理解してもらい、約25年前から取り組みました。農薬や化学肥料をまったく使わず、大変な作業をしましたが、26年度ようやく多収穫を実現しました。

3月に東京で開催されたアースフォーラムに夫と娘と参加し、いま、消費者が求めているものを実感しました。雫石の水、空気、景観、自然環境はもちろんですが、みんなが一生懸命頑張っている雫石が大好きです。



たむら かよ
田村 佳世さん
(33歳・小松行政区)

若者の投票率 アップを目指して

私は雫石町に引っ越してきて、この春で3年目を迎えます。私はヨガインストラクターを生業としていますが、2013年夏の参院選より「未来はぼくらの手の中プロジェクト岩手」の発起人も務めています。

この「みらぼく」は全国的、かつ任意のアクションで、選挙に行くと多種多様なお店でサービスが受けられるという内容です。

若者の投票率低下が叫ばれている昨今、少しでも選挙が楽しいものになって欲しい、また若者が政治に意識を向けるきっかけ作りをしたいと思い活動を始めました。県内でのこの呼びかけに賛同し、約25店舗がサービスを提供しています。

投票率のアップにはまだ貢献できていませんが、これからも政治が若者にとってより身近で興味の対象となるように、民間レベルでも活動をしていきたいと思っています。



むらかみ くさぶろう
在京雫石町友会 会員 村上九三郎さん

いつの間にか、こんな歳になったんだ…と思うこの頃です。長くもあり、短くもありで感慨深いものがあります。私は長山に生まれ、岩手山に見守られながら腕白時代を過ごしました。学校で写生大会に出たり、野球の試合で御所や御明神に行った事等、当時を思い出します。豊かな自然と人情溢れる故郷、その環境、風土こそが、我が人生の根源であると思っています。高校卒業後、向学の志をもって上京しましたが、体調を崩し、道半ばで余儀なく帰省し生家で静養しました。成人を故郷で祝って頂いたのを機に盛岡で家電会社へ勤めました。

当時は道路も交通機関も未だ^{いま}で、車も少ない時代でしたので、大方は大変苦勞な生活でした。そんな時局を鑑みて、“生活文化の向上を”の旗印としていた「会社^{なりわい}の業」こそが意義あるものと思慮し、定年まで勤めることになりました。

長い人生の間には忘れがたい事もありました。車で走行中、前走車の数台が雪崩に巻き込まれて湖に転落、死亡事故に遭遇したことで、もう少し前を走っていたらわが身と思うとゾッとした事です。また、昭和 35 年のチリ地震津波の被災地支援時に見た光景です

が、大型バスや船が横転していて、その無惨さに絶句した事は今回の東日本大震災とだぶって、とても心が傷む経験でした。

定年退職後は、新しい刺激を求めて夫婦で京都へ移住しました。大阪や京都へは出張でよく行っていたので何の違和感も無く楽しく過ごせました。そこで日高見の会（史跡探訪等歩こう会）、晃墨会（水墨）、翔の会（日本画）と広く交流ができました。

日展参与の先生に逢えたのもここで、以後親しくスケッチ旅行等を楽しんだり、見聞を広められました。京都岩手県人会にも入会、後に設立に参加した関西奥州会の両会で活動させて貰いました。

諸々の会を通じて、多彩多技に渡る方々との交流が出来たのは私の財産で、総じて充実した京都生活でした。

平成 25 年 7 月東京へ転居し、在京雫石町友会に初参加させて頂き、懐かしく思いました。故郷の名声は我が喜びでもあり、益々の隆盛発展を祈念して止みません。



箱根にて妻と



京都市イベントに県人会で協力
(遠景)



翔の会スケッチ旅行先で
(右から 4 人目が著者)

昭和 9 年 長山八区行政区生まれ。趣味：日本画（岩絵の具使用）、書道（墨絵）他。
上長山小学校—西山中学校—盛岡—高（雫石校）—藤健産業株—岩手ナショナル製品販売株—南岩手ナショナル製品販売株—岩手ナショナル家電販売株参事—退職—京都移住（京都岩手県人会監査、幹事）・（関西奥州会、会計）—東京転居（在京雫石町友会入会）
現在東京都渋谷区在住。

雫石町へようこそ

お嫁さん

お婿さん

ご縁があり、町外から迎えられた
「お嫁さん」



左から 夫の武留さん(39歳)、
長女の彩奈ちゃん(2歳)、知子さん

やち ともこ
谷地 知子さん(40歳 滝沢市出身)
(旧姓：歳弘、御明神谷地行政区在住)

Q- お二人の馴れ初めは？

- 私の職場で、仕事を通して知り合いました。

Q- 雫石町に暮らしてみていますか？

- 山が近い！ 家からも美しい岩手山を望むことができます。
スキーが好きなので、冬は家族3人でスキー三昧が夢です。

Q- 町へ望むことは？

- 子どもたちが、元気でのびのびと暮らしていけるような環境
づくりを望みます。

議会の主な動き 1月～4月

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1月 20日 総務常任委員会 | 3月 5日 豪雨災害対策調査特別委員会 |
| 30日 教育民生常任委員会 | 9日 各常任委員会 |
| 2月 2日 産業建設常任委員会 | 10日 各常任委員会・全体会 |
| 3日 議会運営委員会 | 11日 議員全員協議会 |
| 10日 議員全員協議会 | 12日 予算特別委員会(3/17まで) |
| 12日 議会運営委員会 | 13日 政務調査会 |
| 13日 政務調査会 | 16日 議員全員協議会 |
| 雫石町議会議員研修会 | 18日 豪雨災害対策調査特別委員会 |
| 16日 臨時議会 | 19日 議会運営委員会 |
| 立川市議会広報視察来庁 | 議員全員協議会 |
| 17日 議会運営委員会 | 4月 6日 議会運営委員会 |
| 18日 富山県入善町議会行政視察来庁 | 9日 議会広報編集特別委員会 |
| 20日 議員全員協議会 | 15日 政務調査会 |
| 26日 3月定例会開会(3/20まで) | 議員全員協議会 |
| 議会広報編集特別委員会 | 16日 議会広報編集特別委員会 |
| 27日 議会運営委員会 | |

情報公開

●議長交際費執行状況

【議長交際費とは】

議長等が議会を代表し、外部との交渉、
情報収集、町政協力者への謝意を表すため
に係る経費で、会費や香典などです。

【議長交際費内訳(1月～3月)】

月	葬祭費	お祝い、会費
1月	1件 10,000円	6件 14,000円
2月	0件 -円	4件 15,000円
3月	0件 -円	3件 11,000円
小計	1件 10,000円	13件 40,000円

今月の表紙

はいきゅうだん
雫石排球男スポーツ少年団
おだしまつる
(代表：小田島 充さん)

町内唯一の男子バレースポー
ツ少年団で県内の小学生男子バレーボール大会では、上位常
連チームで、中学、高校、社会人等で活躍している選手や多
くの指導者を輩出している。現在団員は10人。練習は毎週火・
金曜日の午後6時半から。入団は随時大歓迎。詳しくは、町
体育協会(☎692-5030)までお問い合わせを。

▶監督のしもかわら
まさかず
正和さん
(下川原行政区)



■編集デスク

私が議員になってから、早いもので任期も残すところあと
3ヶ月になりました。広報委員として、町民目線でわかりや
すい広報を心掛けて取り組んでまいりました。大好きな雫石
のために何ができるのか。今、私ができることをこれからも
続けていきたいと思います。

(編集委員 田屋館愛子)

【訂正とお詫び】

議会だより92号P15追跡リポート中、雫石土地改良区への補助金を
(誤)937万7千円→(正)851万4千円に訂正し、お詫びいたします。